

User Guide

GL08D

取扱説明書



- 本書内で使用されている表示画面、イラストなどは説明用に作成されたものです。
- 本書の内容に関して、一部でも無断転載することは禁じられています。
- 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、お問い合わせ先にご連絡ください。

Windows®、Microsoft®、Windows Vista®は、米国Microsoft Corporationの商標または登録商標です。

Mac、Macintoshは、米国Apple Inc.の商標または登録商標です。

Hayesは、米国Hayes Micro Computer Products.Inc.の商標または登録商標です。

AdobeおよびAdobe Readerは、米国Adobe Systems Incorporatedの商標または登録商標です。



、HUAWEI は、中国HUAWEI TECHNOLOGIES CO., LTD.の商標または登録商標です。

その他、会社名、商品名および製品名などは、一般に各社の商標または登録商標です。

本機を廃棄するときは、地方自治体の条例に従って処理するようお願いいたします。詳しくは、各地方自治体にお問い合わせください。



携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し、貴重な資源を再利用するためにお客さまが不要となってお持ちになる電話機・電池・充電器を、ブランド・メーカー問わず左記マークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

この度は、EMOBILE GL08D(以下、本機)をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
ご使用前に本書をよくお読みいただき、正しくお使いください。  
不明な点がございましたらお問い合わせ先にご連絡ください。

## 動作環境(対応OS)

本機の動作環境は下記のとおりです。

- OS:
    - Windows XP Home Edition Service Pack 3以降
    - Windows XP Professional Service Pack 3以降
    - Windows Vista Home Basic(32ビット/64ビット)
    - Windows Vista Home Premium(32ビット/64ビット)
    - Windows Vista Business(32ビット/64ビット)
    - Windows Vista Ultimate(32ビット/64ビット)
    - Windows 7 Starter(32ビット)
    - Windows 7 Home Premium(32ビット/64ビット)
    - Windows 7 Professional(32ビット/64ビット)
    - Windows 7 Ultimate(32ビット/64ビット)
    - Windows 8(32ビット/64ビット)
    - Windows 8 Pro(32ビット/64ビット)
    - Mac OS X 10.6~10.7(32ビット/64ビット)
    - Mac OS X 10.8(64ビット)
- ※対応OSはすべて日本語版となります。

- メモリ:
  - Windows XP: 256MB以上(推奨512MB以上)
  - Windows Vista: 512MB以上(推奨1GB以上)
  - Windows 7: 1GB以上(32ビット)/2GB以上(64ビット)
  - Windows 8: 1GB以上(32ビット)/2GB以上(64ビット)
  - Mac OS X: 256MB以上(推奨512MB以上)
- ハードディスク: 推奨200MB以上(100MB以上の空き容量が必要)
- インターフェイス: USB 2.0 High Speed

上記の環境以外では、動作しない場合があります。また、上記に該当する場合でも、パソコン本体・接続されている周辺機器、使用するアプリケーションなど、お客さまがご利用の環境によっては、正常に動作しない場合があります。

お願い パソコンに対するサポートやOSのバージョンアップなどのサービスに関するお問い合わせは、各マニュアルをお読みの上、各メーカーの定める手順に従ってください。

## ご利用いただくにあたって

- 本機はイー・モバイルの提供するサービスエリアおよび国際ローミングのサービスエリアにおいてご使用になれます。  
This product can be used in the coverage that EMOBILE offers and the coverage of the International roaming.
- サービスエリア内であっても、屋内や電車の中、トンネル、地下、ビルの陰、山間部など電波の伝わりにくいところでは、通信ができない場合があります。また地域的に電波の伝わりにくい場所もありますので、あらかじめご了承ください。
- 電波状態が一定以上悪くなった場合には、突然通信が途切れることがあります。電波状態が良いところでも通信が途切れることがあります。あらかじめご了承ください。
- 本機は高い秘匿性を有しておりますが、電波を使用している以上、第三者に通信を傍受される可能性がないとはいえません。留意してご利用ください。
- 本機は電波法に基づく無線局ですので、電波法に基づく検査を受けていただくことがあります。
- 公共の場でご使用の際は、周りの方の迷惑にならないようご注意ください。
- EM chip<micro>(microSIMカード)を取り付けていない状態では一部使用できない機能があります。
- 本書および本書に記載された製品の使用によって発生した損害、およびその回復に要する費用については、当社は一切の責任を負いません。
- 本機の使いかたを誤ったときや静電気、電氣的ノイズの影響を受けたとき、また、故障・修理のときなどには登録している情報が消失する恐れがありますが、当社は一切の責任を負いません。
- 本機に登録した情報は必ず別にメモを取るなどして保管して下さるようお願いいたします。

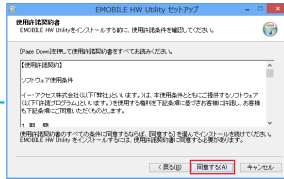
## 本書の使いかた

章番号

### 2 セットアップ (Windows/パソコンへ)

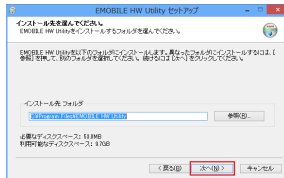
操作手順

7. 「同意する」をタップまたはクリックします。



画面表示

8. 「次へ」をタップまたはクリックします。



ページ数

22

・ 本項目の説明記載、およびページはサンプルです。本書の実際の記載とは、内容が異なります。




# 安全上のご注意

## 安全上のご注意

- ・ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。お読みになった後は、必要などきにご覧になれるよう大切に保管してください。
- ・以下の注意事項は、ご使用になる方や他の方への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容が記載されていますので、よくお読みの上、必ずお守りください。








### 表示区分の説明

次の表示区分は、表示内容を守らずに誤った取り扱いをした場合に生じる危害・損害の程度について説明しています。

 危険	この表示の内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
 警告	この表示の内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示の内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

4

### 図記号の意味

 禁止	本機の取り扱いにおける禁止事項(してはいけないこと)を示しています。
 分解禁止	本機を分解すると感電などの傷害を負う恐れがあるので、分解してはいけないことを示しています。
 濡れ手禁止	本機を濡れた手で扱うと感電する恐れがあるので、濡れた手で触ってはいけないことを示しています。
 水濡れ禁止	本機を水に濡らすなどして使用すると漏電による感電や発火の恐れがあるので、水に濡らしてはいけないことを示しています。
 風呂、シャワー室での使用禁止	本機を風呂、シャワー室で使用すると漏電による感電や発火の恐れがあるので、風呂、シャワー室で使用してはいけないことを示しています。
 指示	本機の取り扱いにおける指示事項(必ず実行していただくこと)を示しています。
 電源プラグを必ずコンセントから抜く	パソコンの電源プラグを必ずコンセントから抜いていただくことを示しています。

具体的な内容は図記号とともに文章で示します。

## GL08D、USBケーブルの取り扱いについて(共通)



### 危険

	分解、改造をしないでください。 発熱、発火、感電や故障の原因となります。なお本機の改造は電波法違反になります。
	強い日光や熱風が直接当たる所、炎天下の車内、火のそば、暖房器具のそばなど、高温になる所での使用、放置はしないでください。 発熱、発火、変形、変色や故障の原因となります。また本機が高温になり、やけどの原因になる可能性があります。
	濡れた手で触れないでください。 感電や故障の原因となります。
	浴室などで使用したり、水の中につけたりしないでください。 発熱、発火、感電や故障の原因となります。
	コップのそばなど、液体がこぼれる恐れがある場所では使用しないでください。 液体がこぼれて濡れると、感電、発熱、故障の原因となります。
	水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。 火災、やけど、けが、感電の原因となります。
	無理な力や強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。 発熱、発火、破裂、故障、本人や他の人のけがの原因となります。



### 警告

	必ず指定の機器をご使用ください。 指定以外の機器を使用すると、発熱、発火、破裂、故障の原因となります。
	コネクタ、プラグなどの端子部分に導電性異物(金属片、鉛筆の芯など)を触れさせないでください。また内部に入れないでください。 ショートによる火災や故障の原因となります。
	電子レンジなどの加熱調理機器や高压容器に入れないでください。 発熱、発火、感電や故障の原因となります。
	ガソリンスタンドなど引火、爆発の恐れがある場所では、本機を使用しないでください。 爆発や火災の原因となります。
	煙が出ている、変な臭いがするなどの異常な状態の場合は、すぐに使用をやめて、パソコンから取り外し、お問い合わせ先(58ページ)にご連絡ください。 そのまま使用し続けると、発熱、発火の原因となります。

# 安全上のご注意



落雷の恐れがあるときは、パソコンから取り外し、パソコンの電源を切ってください。  
落雷、感電、発火の原因となります。また屋外の場合は安全な場所へ移動してください。



長時間使用しない場合、本機をパソコンから取り外してください。  
感電、火災、故障の原因となります。



## 注意



小児や乳幼児の手の届かない場所に保管してください。  
誤って飲み込むなど、事故やけがの原因となります。



小児が使用する際には、保護者が本書の内容を教え、また、使用の途中においても、  
本書どおりに使用しているかどうか注意してください。  
感電やけがの原因となります。



湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使用や保管はしないでください。  
故障の原因となります。



ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。  
落下して、けがや故障の原因となります。

## GL08Dの取り扱いについて



## 警告



車両の運転中に本機を使用しないでください。  
交通事故の原因となります。車両を安全な場所に止めてからご使用ください。



歩行中の使用は、注意力が散漫になりやすいので、周囲には十分ご注意ください。



万が一、異物(金属片・水・液体)が製品の内部に入った場合は、パソコンから取り外し、  
お問い合わせ先(58ページ)にご連絡ください。  
そのまま使用すると火災や感電の原因となります。



航空機内や病院など、使用を禁止されている場所では本機を使用しないでください。  
電子機器や医用電気機器に影響を及ぼす恐れがあり、事故の原因となります。



## 注意



自動車の電子機器に影響が出る場合は使用しないでください。  
安全走行を損なう恐れがあります。





長時間の連続使用などで本機が温かくなることがありますが、手で触れることのできる温度であれば異常ではありません。ただし、長時間触れたまま使用していると、低温やけどになる恐れがあります。



クレジットカードなどを本機に近づけないでください。  
クレジットカードなどの磁気カードデータが消える恐れがあります。



周囲温度-10~40℃、湿度5~95%の範囲でご使用ください。



皮膚に異常が生じた場合は、ただちに使用を止め、医師の診断を受けてください。  
お客さまの体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じる場合があります。

本機に使用されている材料や表面処理は以下に記載のとおりです。

	使用箇所	使用材料・表面処理
製品本体	本体	PC1414
	ねじ	スチールニッケルメッキ
	USBコネクタ	スチールニッケルメッキ
	ラベル	3M7815
USBケーブル	本体	PVC
	USB接続端子	銅メッキ、銅合金

## USBケーブルの取り扱いについて



### 警告



コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたりしないでください。  
コードを傷め、火災や感電の原因となります。



雷が鳴り出したら、USBケーブルには触れないでください。  
落雷、感電の原因となります。



### 注意



コードの根元部分を無理に曲げないでください。



USBケーブルを取り外す場合は、コードを引っ張らずにコネクタを持って抜いてください。  
コードが傷つき、感電、火災の原因となります。

# 安全上のご注意

## EM chip <micro>(microSIMカード)の取り扱いについて



### 警告



EM chip <micro>を本機に取り付けるときや取り外すときはご注意ください。  
必要以上に力を加えると、けがやEM chip <micro>の故障の原因となります。



### 注意



EM chip <micro>のIC部分への接触は、データの消失や故障の原因となる可能性があります。不要なIC部分への接触は避けてください。



分解や改造はしないでください。

データの消失や故障の原因となります。故障した場合、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。



火のそばやストーブのそばなど高温の場所での使用および放置はしないでください。  
溶解、発熱、発煙やデータの消失、故障の原因となります。



EM chip <micro>は当社が指定した機器にてご使用ください。

指定機器以外で使用した場合、データの消失や故障の原因となることがあります。なお、当該要因による不具合が発生した場合、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。



本機を使用中、EM chip <micro>自体が温かくなることがありますが、手で触れることのできる温度であれば、異常ではありませんので、そのままご使用ください。



落としたり、濡らしたり、曲げたり、衝撃を与えたり、重いものを載せたりすることは、変形、破損、故障の原因となります。



高温・低温・多湿・ほこりの多いところでの保管は避けてください。  
故障の原因となります。



電子レンジなどの加熱調理器や高圧容器にEM chip <micro>を入れないでください。  
溶損、発熱、発煙やデータの消失、故障の原因となります。



水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。  
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



小児が使用する際には、保護者が本書の内容を教え、また、使用の途中においても、本書どおりに使用しているかどうか注意してください。  
感電やけがの原因となります。



小児や乳幼児が誤ってEM chip <micro>を飲み込むなどの事故やけがを防止するため、EM chip <micro>は小児や乳幼児の手が届かないところに保管してください。



その他、本来の用途以外の方法での使用はデータ消失や故障の原因となりますので、ご注意ください。

## 医用電気機器近くでの取り扱いについて



### 警告

	<p>植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、装着部位から15cm以上離して携行および使用してください。 電波の影響で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器が誤作動することがあります。</p>
	<p>混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、パソコンの電源を切り、本機の使用を控えてください。 電波の影響で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器が誤作動することがあります。</p>
	<p>医療機関の屋内では以下のことを守って使用してください。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 手術室、集中治療室 (ICU)、冠状動脈疾患監視病室 (CCU) には本機を持ち込まないでください。</li><li>・ 病棟内では、パソコンの電源を切り、本機を使用しないでください。</li><li>・ ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、パソコンの電源を切り、本機を使用しないでください。</li><li>・ 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの措置を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。</li></ul>
	<p>自宅療養など医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。 電波の影響で、電子機器の動作に影響を及ぼす恐れがあります。</p>

# ご利用上のお願いとご注意

## ご利用上のお願いとご注意

### ■ 共通

- ・ 本機は防水仕様ではありません。浴室や加湿器のそばといった多湿環境や、雨が降りかかる環境下では使用しないでください。また洗濯機で洗わないでください。故障の原因が水濡れであると判明した場合、保証の対象外となります。
- ・ 次のような極端な温度環境での使用は避けてください。
  - 直射日光の当たる場所、暖房設備やボイラーの近くなど、特に温度が上がる場所。
  - 冷蔵倉庫など、特に温度が下がる場所。
- ・ エアコン吹出口の近くなどで使用しないでください。温度が急激に変化することにより結露が発生して、故障の原因となります。
- ・ 落としたり、強い衝撃を与えたり、曲げたりしないでください。落としたり、重い物の下敷きにしたり、変な持ち方をして曲げるなど、強い力を加えないでください。故障の原因となります。この場合、保証の対象外となります。
- ・ 汚れたり、水滴が付いたりしたときは、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。アルコール、ベンジン、シンナーなどの薬品や、化学雑巾、洗剤などを用いると、外装や印刷が変質する恐れがありますので、使用しないでください。
- ・ 湿った衣類のポケットに入れて持ち運ばないでください。衣類のポケットにこもる汗などの湿気が故障の原因となります。
- ・ 強い力がかかるような場所に置かないでください。
- ・ 荷物のつままったカバンに入れるときは、重いものの下にならないようご注意ください。
- ・ 一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、影響を与える場合がありますので、なるべく離れた場所でご使用ください。

### ■ GLO8D

- ・ お客さまご自身で本機に登録された情報内容などは、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いいたします。万が一、登録された情報内容が消失してしまうようなことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・ ズボンやスカートの後ろポケットなどに本機を入れたまま、椅子などに座らないでください。またカバンの底など強い力がかかるような場所には入れないでください。
- ・ 本機の上に書類などを載せないでください。誤って書類などの上から力を加えると、破損の原因となります。
- ・ 突起部のある硬いもの（クリップなど）と一緒に入れたり、バッグの底に入れしないでください。入れたかたや取り扱いかた（誤って、ぶつけたり落としたりするなど）によっては、破損の原因となります。
- ・ 使用中に、強い磁石を近づけないでください。故障の原因となります。
- ・ 本機をパソコンに接続している場合、パソコンの電池残量が不足していないことを確認して使用してください。電池が不足していると動作が不安定になります。充電するなどして使用してください。
- ・ USB 端子にゴミやほこり、金属片などの異物を絶対に入れないでください。故障や記録内容の消失の原因となります。

### ■ EM chip <micro> (microSIMカード)

- ・ IC 部分は、いつもきれいな状態でご使用ください。
- ・ お客さまご自身で EM chip <micro> に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いいたします。万が一、登録された情報内容が消失してしまうようなことがあっても、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

## 注意事項

取扱説明書の内容は、予告なく変更されることがあります。

取扱説明書では内容の正確さを期すためにあらゆる努力をしておりますが、取扱説明書に記載されているすべての記述、情報、および推奨事項は、明示、黙示を問わず、内容を一切保証するものではありません。無線機器を正しく安全にご使用いただくために、「安全上のご注意」および「ご利用上のお願いとご注意」をよくお読みください。

## 免責事項について

- 洪水、地震などの自然災害および当社責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客さまの故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本機の使用、または使用不能から生ずる付随的な損害（記録内容の変化・消失、通信などの機会を逸したために生じた損害、事業利益の損失、事業の中断など）に関して、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 取扱説明書の記載内容を守らなかったことにより生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 当社指定外の接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤作動などから生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

# 目次

はじめに	1
動作環境(対応OS)	1
ご利用いただくにあたって	2
本書の使いかた	3
安全上のご注意	4
ご利用上のお願いとご注意	10
注意事項	11
免責事項について	11
目次	12
1 ご利用になる前に	13
梱包品を確認してください	14
各部の名称と機能	15
EM chip<micro>(microSIMカード)を準備してください	16
2 セットアップ(Windows/パソコンへ)	18
Windows/パソコンに本機を取り付ける	19
Windows/パソコンへのインストール	20
Windows/パソコンから本機を取り外す	25
ユーティリティをアンインストール(削除)する場合	27
3 セットアップ(Macへ)	30
Macに本機を取り付ける	31
Macへのインストール	32
Macから本機を取り外す	37
ユーティリティをアンインストール(削除)する場合	38
4 ユーティリティ操作ガイド	39
EMOBILE HWユーティリティの概要	40
接続先(プロファイル)設定	43
ユーティリティ設定	46
ネットワーク設定	47
関連設定および情報確認	49
取扱説明書を参照する	51
5 故障と思われる前に	52
6 付録	56
主な仕様	57
保証とアフターサービス	58

# 1 ご利用になる前に

梱包品を確認してください .....	14
各部の名称と機能 .....	15
本体の名称と機能 .....	15
LEDステータスランプ表示の見かた .....	16
EM chip<micro> (microSIMカード)を準備してください.....	16
EM chip<micro>の取り付けかた .....	17
EM chip<micro>の取り外しかた .....	17

# 1 ご利用になる前に

## 梱包品を確認してください

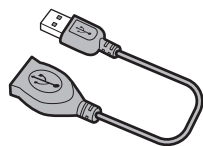
お買い上げいただいた商品には次のものが入っています。お使いになる前に確認してください。万一、不足している場合には、お問い合わせ先にご連絡ください。

### ● 本体



GL08D本体

### ● 付属品



USBケーブル  
(PGD03LDZ10)



かんたんセットアップ  
マニュアル(別冊)



保証書(1部)



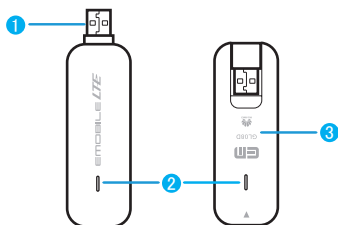
ご利用いただくにあたって(1部)

お願い 保証書を含め付属品は大切に保管してください。

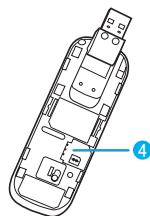


## 各部の名称と機能

### 本体の名称と機能



- ① USBコネクタ: パソコンのUSBポートに接続します。  
USBコネクタは、下図のように起こしたり倒したりできます。



- ② LEDステータスランプ: 本機の状態をランプの色および点灯パターンで知らせます。  
③ カバー: EM chip<micro>を保護するためのカバーです。  
④ EM chip<micro>スロット: EM chip<micro>を取り付けます。

# 1 ご利用になる前に

## LEDステータスランプ表示の見かた

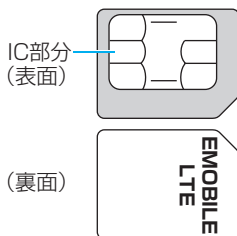
本機では、通信状態、異常状態などの情報をLEDの点灯によってお知らせします。

LED色および1秒間における変化	通信状態/異常状態
赤点滅(等間隔で点滅)	<ul style="list-style-type: none"><li>・本機が起動中です</li><li>・EM chip&lt;micro&gt;が未挿入です</li><li>・EM chip&lt;micro&gt;が完全ロック状態です</li><li>・EM chip&lt;micro&gt;が正常に読み取れません</li></ul>
赤点滅(短く点灯、長く消灯)	<ul style="list-style-type: none"><li>・ネットワークを検索中です</li><li>・ネットワークに登録中です</li></ul>
赤点灯	圏外
橙点滅(等間隔で点滅)	<ul style="list-style-type: none"><li>・PINコード入力待ち</li><li>・PUKコード入力待ち</li></ul>
青点滅(短く点灯、長く消灯)	待機状態(通信中、発信中以外の状態で、かつ圏内)
青点滅(等間隔で点滅)	ダイヤルアップ中
青点灯	ダイヤルアップ成功、安定した通信状態です

16

## EM chip<micro>(microSIMカード)を準備してください

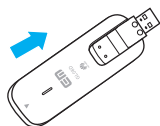
本機をご利用になるお客さまに貸与されているICカードのことをEM chip<micro>(エムチップ<マイクロ>)といい、お客さまの電話番号などの情報が記録されています。本機を使用するにはEM chip<micro>を本体に取り付ける必要があります。EM chip<micro>を取り付けていない本機をパソコンと接続しても、データ通信は一切できません。EM chip<micro>台紙に記載されている取扱説明も参照してください。



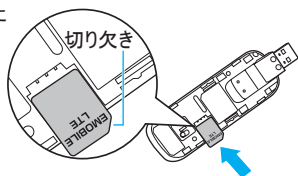
**注意** 本機をパソコンに接続する前に、必ずEM chip<micro>を取り付けてください。接続したままでEM chip<micro>を取り付けたり取り外したりすると、本機が正常に動作しません。

## EM chip<micro>の取り付けかた

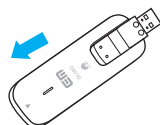
1. 本機のカバーを、矢印の方向にスライドしてから取り外します。



2. EM chip<micro>のIC部分を下にして、矢印の方向にEM chip<micro>を挿入します。



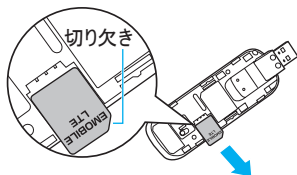
3. EM chip<micro>が奥まで挿入されていることを確認してから、カバーを矢印の方向にスライドして取り付けます。



## EM chip<micro>の取り外しかた

1. 本機のカバーを、USBコネクタの方向にスライドしてから取り外します。

2. EM chip<micro>を矢印の方向に取り外します。



3. カバーをUSBコネクタの反対方向にスライドして取り付けます。

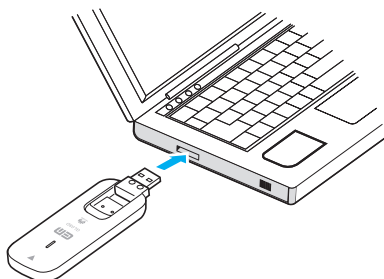
**注意** 取り外したEM chip<micro>は紛失しないよう、ご注意ください。

## 2 セットアップ (Windows/パソコンへ)

Windowsパソコンに本機を取り付ける .....	19
Windowsパソコンへのインストール .....	20
インストーラーが自動的に起動しない場合 .....	24
Windowsパソコンから本機を取り外す .....	25
ユーティリティをアンインストール(削除)する場合 .....	27

## Windowsパソコンに本機を取り付ける

EM chip<micro>を取り付けている本機をパソコンのUSBポートに接続します。パソコンがデータ通信カード(本機)を認識します(パソコンが本機を認識するまで45秒程度かかります)。



Windowsの場合では、システムからメッセージが表示されたら、本機の接続完了となります。ユーティリティのインストールについては本書の20ページ「Windowsパソコンへのインストール」をご参照ください。

- 注意**
- ・ 本機をパソコンに取り付けた状態でスリープ(サスペンド/レジューム)、または休止(ハイバネーション)を行うと、正常に動作しない場合があります。必ず本機を取り外してから、スリープ(サスペンド/レジューム)、または休止(ハイバネーション)を行ってください。
  - ・ 本機をパソコンに取り付けた状態で、再起動や電源を入れると正常に動作しない場合がありますので、パソコンを起動する前に本機を取り外してください。

- 説明**
- ・ 本機のUSBコネクタは、起こしたり倒したりできます。
  - ・ パソコンとの接続時は、本機のUSBコネクタを矢印の方向に起こします。



※ 本機を持ち運ぶときは、パソコンから取り外し、USBコネクタを倒してください。パソコンに接続したままやUSBコネクタを起こしたままを持ち運ぶと、USBコネクタなどに誤って衝撃がかかり、故障の原因となります。

## 2 セットアップ (Windowsパソコンへ)

### Windowsパソコンへのインストール

画面表示、手順はWindows 8を例としています。

- 注意**
- ・ インストール中に、本機を取り外さないでください。インストールが正常に行われず、または、システムがダウンしたり、そのほかの異常を起こしたりする恐れがあります。
  - ・ 管理者権限 (Administrator) でログインしてください。管理者権限の確認方法は本書の55ページを参照してください。

- 説明**
- ・ 本機にはユーティリティインストーラー、デバイスドライバが保存されており、初めてお使いの場合、最初にUSB大容量記憶デバイスがインストールされ(本機をパソコンに接続後45秒程度かかります)、その後ユーティリティインストーラーが起動し、本機のデバイスドライバとユーティリティソフトが自動的にインストールされます。
  - ・ 本機以外または本体に内蔵されているよりも古いバージョンのEMOBILE HWユーティリティが既にインストールされている場合には、新しいバージョンをインストールするかどうかのメッセージが表示されます。「はい」をクリックすると、古いバージョンをアンインストールしてからインストールを開始します。

1. パソコンの電源を入れ、OSを起動します。
2. 本機をパソコンに接続します。
3. CDドライブへの操作を確認するメッセージが表示されたら、「EMOBILE\_UTILITY」をタップまたはクリックします。(Windows 8のみ)
  - ・ 自動再生の設定によってはメッセージが表示されなかったり、一定時間が過ぎるとメッセージが消える場合があります。そのときは、24ページを参照してドライブをインストールします。
4. 「AutoRun.exeの実行」をタップまたはクリックします。


#### CD ドライブ (F:) EMOBILE\_U...

このディスク に対して行う操作を選んでください。

##### メディアからのプログラムのインストール/実行



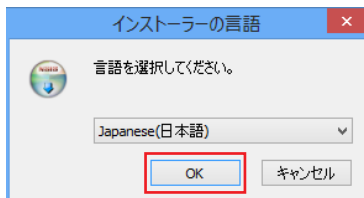
##### その他の選択肢

 フォルダを開いてファイルを表示  
エクスプローラー

 何もしない

- ・ 「ユーザーアカウント制御」の画面が表示されたら「はい」をタップまたはクリックします。ユーザーアカウント制御の設定によってはメッセージが表示されない場合があります。
- ・ Windows Vistaの場合は「続行」をクリックします。
- ・ Windows XPの場合、「自動再生」および「ユーザーアカウント制御」画面は表示されません。次の手順に進みます。

5. 「Japanese (日本語)」を選択して「OK」をタップまたはクリックします。



説明

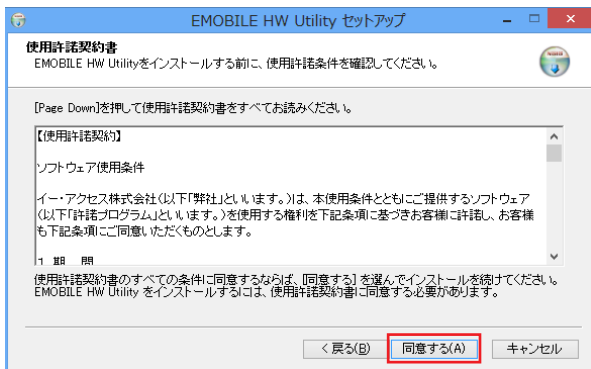
- ・ 本機の通信性能を最大限に活用するための通信設定の最適化を行っています。
- ・ インストーラーが自動的に起動しない場合は、本書の24ページを参照してください。

6. 「次へ」をタップまたはクリックします。

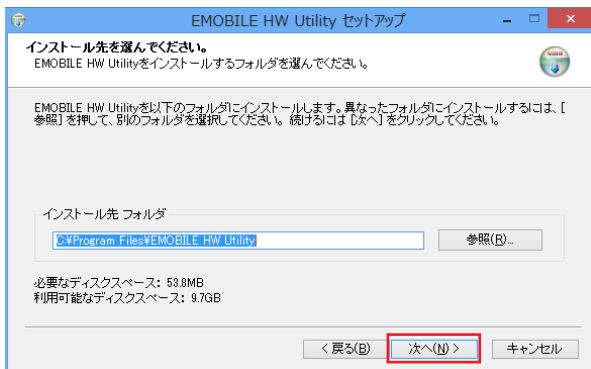


## 2 セットアップ (Windowsパソコンへ)

- 「同意する」をタップまたはクリックします。

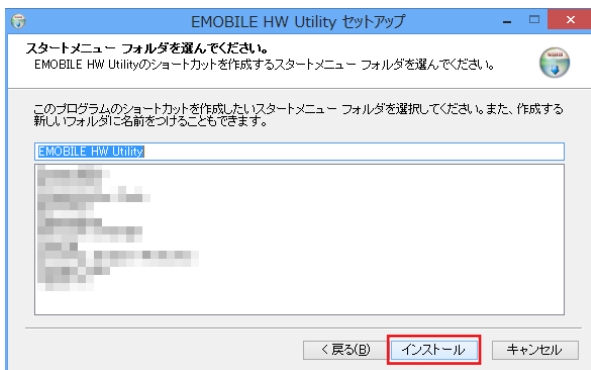


- 「次へ」をタップまたはクリックします。



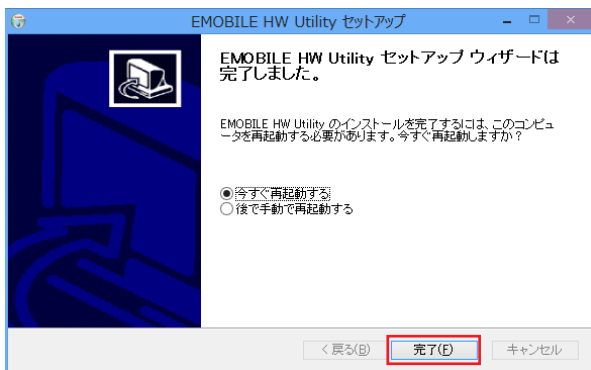


9. スタートメニューを設定し、「インストール」をタップまたはクリックします。



- ・ インストールが始まります。

10. 「今すぐ再起動する」を選択し、「完了」をタップまたはクリックします。



- ・ 再起動するとインストールが完了します。

**注意**

- ・ パソコンを再起動しないとインストールが完了しません。必ず再起動してください。
- ・ 本機を取り付けた状態で再起動や電源を入れると正常に動作しない場合があるので、OS起動前に本機を取り外してください。

お買い上げ時は、OS起動時にEMOBILE HWユーティリティが自動的に最小化表示で起動するように設定されています。インターネットに接続するには、本機をパソコンのUSBポートに接続します。詳しくは、本書の40ページ「インターネットに接続／切断する」を参照してください。

## 2 セットアップ (Windowsパソコンへ)

### インストーラーが自動的に起動しない場合

ご利用中のパソコンの環境によってはインストールが自動的に開始されないことがあります。その場合は、下記の手順にてインストールしてください。画面表示、手順はWindows 8を例としています。

※まず、Windowsパソコンの電源を入れ、本機を接続した状態にしてください。

1. デスクトップ画面で、画面の右端からスワイプ(マウスで操作する場合は、画面の右上隅/右下隅に移動) → チャームで「検索」→「アプリ」→「コンピューター」をタップまたはクリックします。
  - ・ Windows 7の場合は「スタート」→「コンピューター」、Windows Vistaの場合は「スタート」→「コンピューター」、Windows XPの場合は「スタート」→「マイコンピュータ」をクリックします。
2. 「EMOBILE\_UTILITY」をダブルタップまたはダブルクリックします。



- ・ 「ユーザーアカウント制御」の画面が表示されたら「はい」をタップまたはクリックします。ユーザーアカウント制御の設定によってはメッセージが表示されない場合があります。
  - ・ Windows Vistaの場合は「続行」をクリックします。
  - ・ Windows XPの場合、「ユーザーアカウント制御」画面は表示されません。次に進みます。
3. 以降は、21ページの手順5からを参照してください。

## Windowsパソコンから本機を取り外す

本機をWindowsパソコンから取り外すときは、次の方法で行ってください。無理に取り外すと、故障の原因となります。



**注意** 本機を取り外す前に、ユーティリティを終了させてください。データ通信中は本機を取り外さないでください。

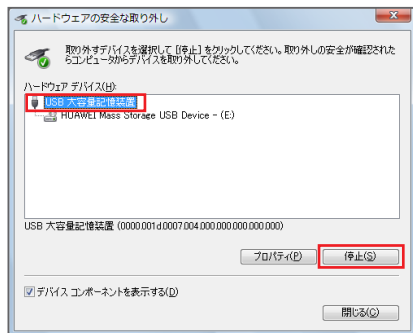
### Windows 8/Windows 7の場合

データの送受信が終了していることを確認し、本機を取り外してください。

### Windows Vista/Windows XPの場合

「ハードウェアの安全な取り外し」機能でデバイスの動作を停止させてから、本機をパソコンから取り外します。

1. タスクトレイの  をダブルクリックします。
  - Windows XPをお使いの場合は、タスクトレイの  をダブルクリックしてください。
2. 「USB大容量記憶装置」を選択して「停止」をクリックします。



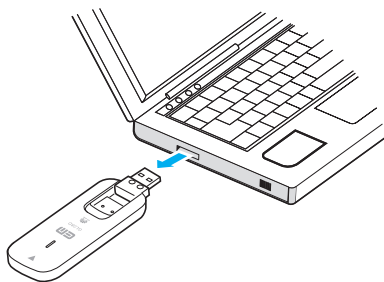
- 複数の「USB大容量記憶装置」が表示されている場合は、画面左下の「デバイスコンポーネントを表示する」のチェックを付けると、本機を表す「USB大容量記憶装置」を確認することができます。
- Windows XPの場合は、「USB大容量記憶装置デバイス」と表示されます。

## 2 セットアップ (Windowsパソコンへ)

- 「OK」をクリックします。



- ・安全に取り外し可能なメッセージが表示されます。
- パソコンから本機を取り外します。



**注意** 本機の特性上、「ハードウェアデバイスの停止」を実行しても本体のLEDが点滅することがありますが、そのまま取り外して問題ありません。

## ユーティリティをアンインストール(削除)する場合

インストールしたパソコンで「EMOBILE HWユーティリティ」を利用しなくなった場合には、パソコンからユーティリティをアンインストール(削除)します。

### 注意

- ・ 本操作は、Windowsパソコンから、ユーティリティをアンインストール(削除)する操作です。アンインストール(削除)すると本機が利用できなくなります。
- ・ アンインストール(削除)してしまった場合、再度ご利用になるには、もう一度インストールする必要があります。

画面表示、手順はWindows 8を例としています。

1. デスクトップ画面で、画面の右端からスワイプ(マウスで操作する場合は、画面の右上隅/右下隅に移動) → チャームで「設定」 → 「コントロールパネル」 → 「プログラムのアンインストール」をタップまたはクリックします。
  - ・ Windows 7/Windows Vista/Windows XPの場合は、「スタート」 → 「すべてのプログラム」 → 「EMOBILE HW Utility」 → 「Uninstall」をクリックします。手順3に進みます。
  - ・ 「ユーザーアカウント制御」の画面が表示されたら、Windows 7の場合は「はい」、Windows Vistaの場合は「続行」をクリックします。ユーザーアカウント制御の設定によってはメッセージが表示されない場合があります。
  - ・ Windows XPの場合は「自動再生」および「ユーザーアカウント制御」画面は表示されません。
2. 「EMOBILE HW Utility」を選択して「アンインストールと変更」をタップまたはクリックします。



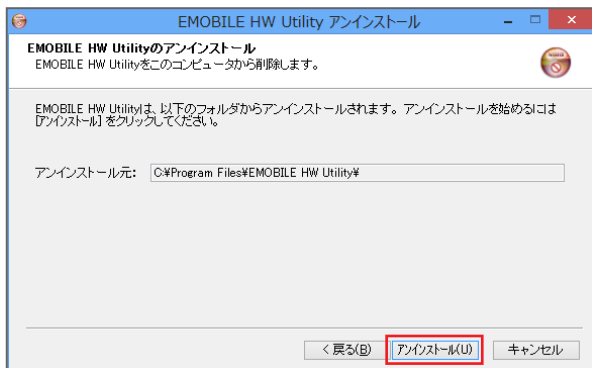
- ・ 「ユーザーアカウント制御」の画面が表示されたら「はい」をタップまたはクリックします。ユーザーアカウント制御の設定によってはメッセージが表示されない場合があります。

## 2 セットアップ (Windowsパソコンへ)

3. 「次へ」をタップまたはクリックします。



4. 「アンインストール」をタップまたはクリックします。



5. 「完了」をタップまたはクリックします。



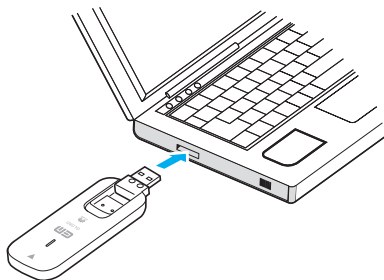
## 3 セットアップ (Macへ)

Macに本機を取り付ける .....	31
Macへのインストール .....	32
インストーラーが自動的に起動しない場合 .....	36
Macから本機を取り外す .....	37
ユーティリティをアンインストール(削除)する場合 .....	38



## Macに本機を取り付ける

EM chip<micro>を取り付けている本機をMacのUSBポートに接続します。Macがデータ通信カード(本機)を認識します(Macが本機を認識するまで45秒程度かかります)。



本機とMacとの接続が完了すると「EMOBILE UTILITY」フォルダが自動的に表示されます。ユーティリティのインストールについては本書の32ページ「Macへのインストール」をご参照ください。

### 注意

- ・ 本機をMacに取り付けた状態でスリープを行うと、正常に動作しない場合があります。必ず本機を取り外してから、スリープを行ってください。
- ・ 本機をMacに取り付けた状態で、再起動や電源を入れると正常に動作しない場合がありますので、Macを起動する前に本機を取り外してください。

### 説明

- ・ 本機のUSBコネクタは、起こしたり倒したりできます。
- ・ Macとの接続時は、本機のUSBコネクタを矢印の方向に起こします。



※ 本機を持ち運ぶときは、Macから取り外し、USBコネクタを倒してください。Macに接続したままやUSBコネクタを起こしたまま持ち運ぶと、USBコネクタなどに誤って衝撃がかかり、故障の原因となります。

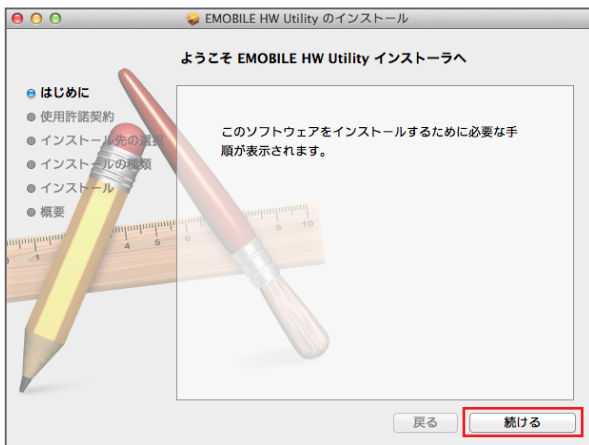
## 3 セットアップ (Macへ)

### Macへのインストール

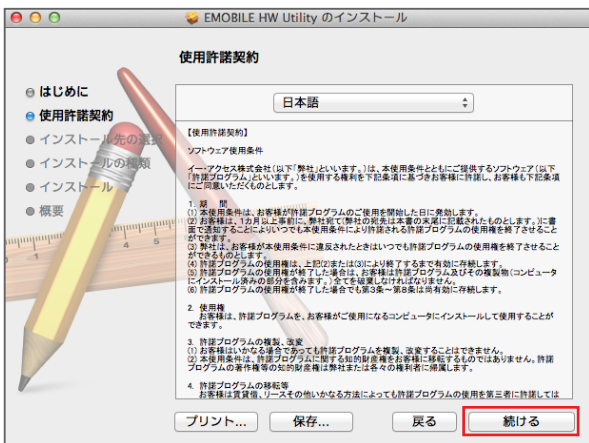
画面表示、手順はMac OS X 10.8を例としています。

- 注意**
- ・ インストール中に、本機を取り外さないでください。インストールが正常に行われず、または、システムがダウンしたり、そのほかの異常を起こしたりする恐れがあります。
  - ・ 管理者権限 (Administrator) でログインしてください。管理者権限の確認方法は本書の55ページを参照してください。
  - ・ 本機以外の「EMOBILE HWユーティリティ」が既にインストールされている場合には、該当する製品の取扱説明書を参照してアンインストールを実施してから、本機のユーティリティをインストールしてください。

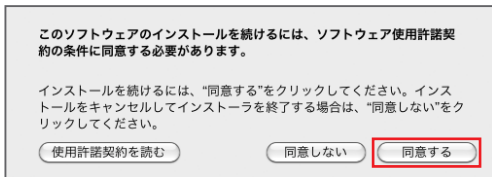
1. Macの電源を入れ、OSを起動します。
2. 本機をMacに接続します。
  - ・ 「EMOBILE\_UTILITY」フォルダの「EMOBILE HWユーティリティ」をダブルクリックします。
3. 「続ける」をクリックします。



4. 「続ける」をクリックします。



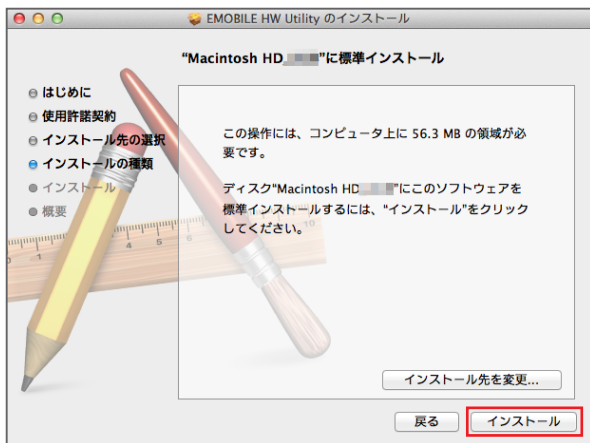
5. 「同意する」をクリックします。



- ・ 「インストール先の選択」の画面が表示された場合は、インストール先を選択して、「続ける」をクリックします。

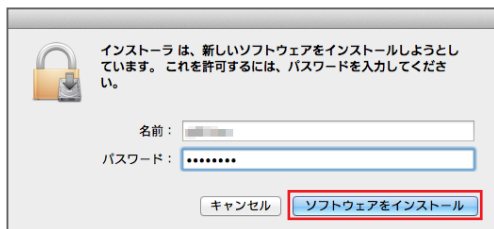
### 3 セットアップ (Macへ)

6. 「インストール」をクリックします。



- ・ 「Macintosh HD」はハードディスクの名称です。ご使用の環境によって表示される名称は異なります。

7. 名前(ユーザ名)とパスワードを入力して、「ソフトウェアをインストール」をクリックします。



- ・ インストールが始まります。

8. 「再起動」をクリックします。



- ・ 再起動するとインストールが完了します。

注意

- ・ Macを再起動しないとインストールが完了しません。必ず再起動してください。
- ・ 本機を取り付けた状態で再起動や電源を入れると正常に動作しない場合があるので、OS起動前に本機を取り外してください。

お買い上げ時は、OS起動時にEMOBILE HWユーティリティが自動的に最小化表示で起動するように設定されています。インターネットに接続するには、本機をMacのUSBポートに接続します。詳しくは、本書の40ページ「インターネットに接続／切断する」を参照してください。

## 3 セットアップ (Macへ)

### インストーラーが自動的に起動しない場合

ご利用中のMacの環境によっては「EMOBILE UTILITY」フォルダが自動的に開かないことがあります。その場合は、下記の手順にてインストールしてください。

※まず、Macの電源を入れ、本機を接続した状態にしてください。

1.  →「デバイス」→「EMOBILE UTILITY」をクリックします。
2. 「EMOBILE HWユーティリティ」をダブルクリックします。



3. 以降は、32ページの手順3からを参照してください。

## Macから本機を取り外す

本機をMacに接続した場合の取り外しは、次の方法で行ってください。無理に取り外すと、故障の原因となります。

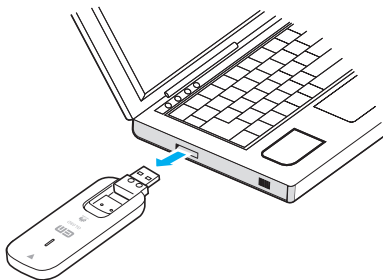
**注意** 本機を取り外す前に、ユーティリティを終了させてください。データ通信中は本機を取り外さないでください。

1.  →「デバイス」で「EMOBILE UTILITY」の取り出しアイコン(  )をクリックします。



- ・ デスクトップの「EMOBILE UTILITY」アイコンをゴミ箱へドラッグしても取り出せません。

2. Macから本機を取り外します。



**注意** Finderの画面上記アイコンが表示されない場合は、ユーティリティを終了していることを確認してから、本機をMacから取り外してください。

### 3 セットアップ (Macへ)

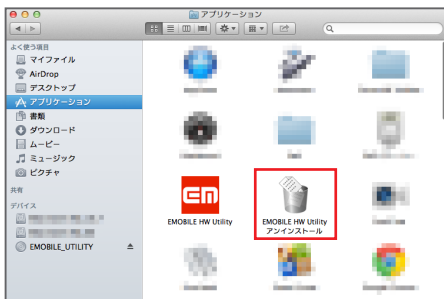
## ユーティリティをアンインストール(削除)する場合

インストールしたMacで「EMOBILE HWユーティリティ」を利用しなくなった場合には、Macからユーティリティをアンインストール(削除)します。

#### 注意

- ・ 本操作は、Macから、ユーティリティをアンインストール(削除)する操作です。アンインストール(削除)すると本機が利用できなくなります。
- ・ アンインストール(削除)してしまった場合、再度ご利用になるには、もう一度インストールする必要があります。

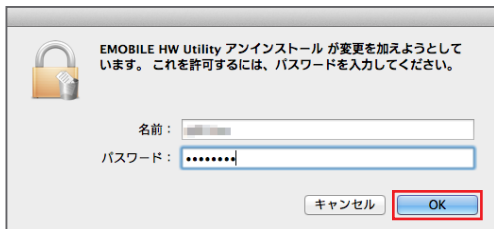
1. アプリケーションの画面を表示させます。
2. 「EMOBILE HW Utility アンインストール」をダブルクリックします。



3. 「OK」をクリックします。



4. 「パスワード入力」の画面が表示されますので、お使いのMacの名前(ユーザ名)とパスワードを入力して、「OK」をクリックします。



5. 「OK」をクリックします。





## 4 ユーティリティ操作ガイド

EMOBILE HWユーティリティの概要	40
インターネットに接続／切断する	40
EMOBILE HW Utilityアイコンの見かた	41
EMOBILE HWユーティリティのメイン画面を表示する	41
EMOBILE HWユーティリティのメイン画面	42
電波状態アイコンの説明	42
接続先（プロファイル）設定	43
接続先を変更する	43
プロファイルを新規作成する	44
プロファイルを編集する	44
プロファイルを削除する	44
接続の履歴を確認する	45
ユーティリティ設定	46
ネットワーク設定	47
ネットワークタイプを選択する	47
ネットワークを選択する	48
関連設定および情報確認	49
言語の選択	49
PIN関連操作	49
デバイス情報を確認する	51
電話番号を確認する	51
ソフトウェア情報を確認する	51
取扱説明書を参照する	51

## 4 ユーティリティ操作ガイド


### EMOBILE HWユーティリティの概要

インターネットへの接続・切断を行う際に利用するソフトウェアを「EMOBILE HWユーティリティ」といいます。EMOBILE HWユーティリティ(以下、ユーティリティ)を使用して、ネットワークへの接続や各種設定を行います。

画面表示、手順はWindows 8を例としています。

**説明** ユーティリティを操作するには、本機をパソコンに接続し、デバイスやネットワークを認識してからご利用ください。本機をパソコンに接続しなくてもユーティリティは起動できますが、デバイスやネットワークを認識していないため、本書の説明と表示が異なる場合があります。

#### インターネットに接続／切断する

お買い上げ時は、OS起動時にユーティリティが自動的に最小化表示で起動するように設定されています。Windowsの場合はタスクトレイ、Macの場合はメニューバーにEMOBILE HW Utilityアイコンが表示されます。


- ・ご利用中のパソコンの環境によっては、OS起動時にユーティリティが自動起動しないことがあります。その場合、Windowsではデスクトップ、MacではDockのEMOBILE HW Utilityショートカットアイコンをダブルタップまたはダブルクリックします。

#### ● インターネットに接続する

1. 本機をパソコンのUSBポートに接続します。
  - ・ デバイスの検出を行い、自動的にインターネットに接続されます。
  - ・ インターネットに接続されると、Windowsの場合はタスクトレイ、Macの場合はメニューバーのEMOBILE HW Utilityアイコンが接続したネットワークを表すアイコンに変わります(41ページ)。

#### ● インターネット接続を切断する

インターネット接続を切断するには、ユーティリティを終了する必要があります。








1. タスクトレイのEMOBILE HW Utilityアイコンをダブルタップまたはダブルクリックしてユーティリティのメイン画面を表示し、右上のをタップまたはクリックします。
  - ・ Windows 7/Windows Vista/Windows XPの場合は、タスクトレイのEMOBILE HW Utilityアイコンを右クリックして「終了」をクリックします。
  - ・ Macの場合は、メニューバーのEMOBILE HW Utilityアイコンをクリックして「終了」をクリックします。
2. 「OK」をタップまたはクリックします。

#### ● インターネットに再接続する

1. デスクトップのEMOBILE HW Utilityショートカットアイコンをダブルタップまたはダブルクリックします。
  - ・ Windows 7/Windows Vista/Windows XPの場合は、デスクトップのEMOBILE HW Utilityショートカットアイコンをダブルクリックします。
  - ・ Macの場合は、DockのEMOBILE HW Utilityショートカットアイコンをダブルクリックします。
  - ・ 本機をパソコンに再接続しても、ユーティリティが起動し、インターネットに再接続されます。

## EMOBILE HW Utilityアイコンの見かた

お買い上げ時は、OS起動時にユーティリティが自動的に最小化表示で起動し、Windowsの場合はタスクトレイ、Macの場合はメニューバーに最小化表示されます。

アイコン	説明
	ユーティリティ起動済み(本機およびネットワーク未接続)
	状態表示:LTEネットワーク接続済み(電波状態:強⇄弱)
	状態表示:3Gネットワーク接続済み(電波状態:強⇄弱)
	状態表示:海外LTEネットワーク接続済み(電波状態:強⇄弱) <sup>*</sup>
	状態表示:海外3Gネットワーク接続済み(電波状態:強⇄弱)
	状態表示:GSMネットワーク接続済み(電波状態:強⇄弱)
	電波状態:圏外

※ 2013年6月時点では、海外LTEネットワークへの接続は提供していません。

## EMOBILE HWユーティリティのメイン画面を表示する

ユーティリティメイン画面を表示しなくてもインターネット接続は可能ですが、各種設定を行う場合などには、ユーティリティメイン画面を表示して操作します。

1. タスクトレイのEMOBILE HW Utilityアイコンをダブルタップまたはダブルクリックします。
  - ・ Windows 7/Windows Vista/Windows XPの場合は、タスクトレイのEMOBILE HW Utilityアイコンを右クリックして「表示」をクリックします。
  - ・ Macの場合は、メニューバーのEMOBILE HW Utilityアイコンをクリックして「表示」をクリックします。

## 4 ユーティリティ操作ガイド

### EMOBILE HWユーティリティのメイン画面



- EMOBILE HWユーティリティメニュー  
「ツール」と「ヘルプ」があります。「ツール」からは、プルダウンリストより詳細設定を行えます。「ヘルプ」からは、取扱説明書やバージョン情報を参照できます。
- 接続タブ  
メイン画面を表示します。
- 通信履歴タブ  
通信履歴情報を表示します。
- 設定  
ユーティリティのオプション画面を表示します。
- 状態表示  
電波状態、接続中のモバイルネットワークの種類(LTE、3G、GSM)、ネットワークの名称を表示します。
- 接続状態  
インターネットへの接続／切断状態を表示します。
- 接続先  
接続先(プロファイル)を表示します。
- 接続時間  
接続時間を表示します。  
接続中にパソコンの設定時刻を変更すると、接続時間が正しく表示されない場合があります。
- 送受信データ量  
インターネット接続中の送受信データ量の合計を表示します。

**説明** Macでは、EMOBILE HWユーティリティメニューはメニューバーに表示されます。「ツール」または「ヘルプ」の操作はWindowsと同じです。メニューバーに「EMOBILE HW Utility」の文字が出ない場合は、ユーティリティのメイン画面を一度クリックしてください。

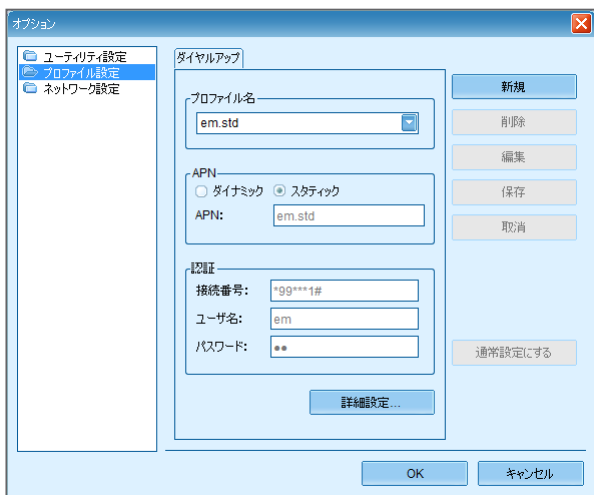
### 電波状態アイコンの説明

アイコン	状態
	電波状態：圏外
	電波状態：微弱
	電波状態：弱
	電波状態：中
	電波状態：強

## 接続先(プロファイル)設定

データ通信を行うためには、接続先(プロファイル)が設定されている必要があります。プロファイルを表示するには、以下の2通りの手順があります。

- メイン画面の接続タブで「設定」をタップまたはクリックします。
- メイン画面 (Macの場合はメニューバー) より、「ツール」→「オプション」→ ナビゲーションツリー中の「プロファイル設定」をタップまたはクリックします。



EMOBILE HWユーティリティには、あらかじめ2つのプロファイル（接続先）が登録されています。

em.std	本接続先はユーティリティの初期設定となっています。通常はそのまま変更せずにご利用ください。
em.gbl	グローバルIPアドレスのご利用が可能な接続先です。

※ これらのプロファイルは削除・編集できません。

### 接続先を変更する

1. 「プロファイル名」のプルダウンリストから、プロファイルを選択します。
2. 「通常設定にする」をタップまたはクリックします。
  - ・ 設定が保存され、変更したプロファイルでインターネットに再接続されます。

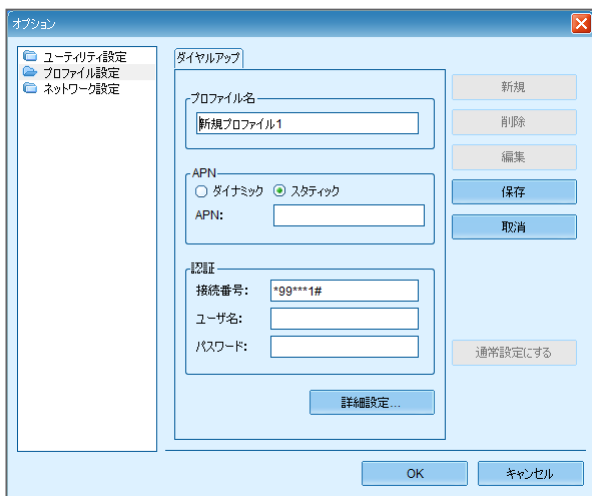
## 4 ユーティリティ操作ガイド

### プロフィールを新規作成する

接続先を新しく作成します。ご利用のサービスプロバイダより正確な値を入手してください。

- ・ 接続番号は「\*99\*\*\*1#」を使用し、変更しないでください。

1. 「新規」をタップまたはクリックします。



2. プロファイル名、APN、認証を設定します。

説明

- ・ Windowsでは、必要に応じてプロファイルの詳細を設定できます。「詳細設定」をタップし、IP設定、認証プロトコル設定、DNS設定、WINS設定の各項目を設定して「OK」をタップまたはクリックします。
- ・ Macでは、プロフィール設定画面で認証プロトコル設定を設定できます。

3. 「保存」をタップまたはクリックします。
  - ・ 作成したプロフィールに接続しなおすには、「通常設定にする」をタップまたはクリックします。インターネットに再接続されます。

### プロフィールを編集する

1. 「プロフィール名」のプルダウンリストから、プロフィールを選択します。
2. 「編集」をタップまたはクリックし、設定情報を変更します。
3. 「保存」をタップまたはクリックします。

### プロフィールを削除する

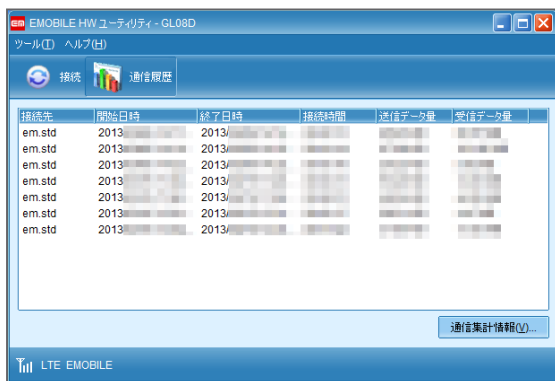
1. 「プロフィール名」のプルダウンリストから、プロフィールを選択します。
2. 「削除」をタップまたはクリックし、「OK」をタップまたはクリックします。

## 接続の履歴を確認する

**注意** 接続中にパソコンの設定時刻を変更すると、接続時間が正しく表示されない場合があります。

### ● 通信履歴

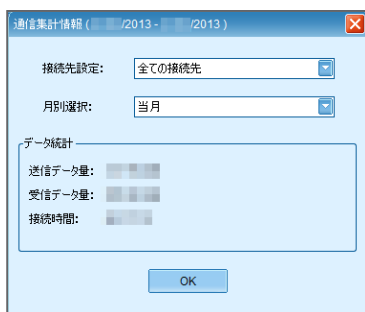
メイン画面で通信履歴タブをタップまたはクリックすると、通信履歴が表示されます。



**説明** 3ヶ月経過した通信履歴は、自動的に削除されます。

### ● 通信集計情報を見る

1. 「通信履歴」の画面で、「通信集計情報」をタップまたはクリックします。



2. 「接続先設定」のプルダウンリストから、確認したい接続先を選択します。
3. 「月別選択」のプルダウンリストから、「先々月」、「先月」、「当月」の中から確認したい月を選択します。
  - ・ 選択した条件でのデータ統計の情報が表示されます。

**注意** 本履歴は目安であり、実際の送受信データとは異なる可能性があります。

## 4 ユーティリティ操作ガイド

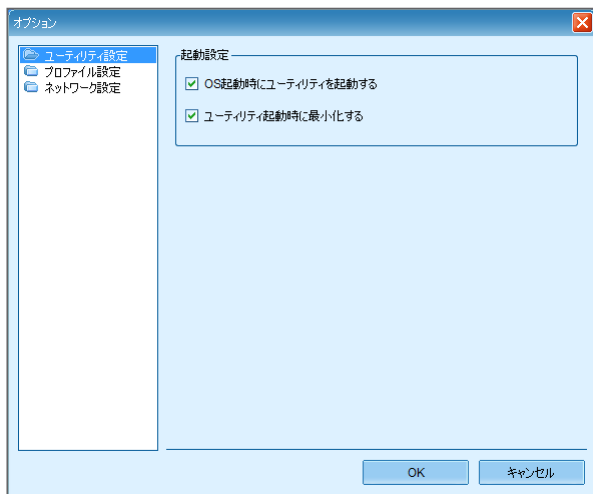
### ユーティリティ設定

メイン画面 (Macの場合はメニューバー) より、「ツール」→「オプション」→ナビゲーションツリー中の「ユーティリティ設定」をタップまたはクリックします。

#### ● 起動設定

ユーティリティ起動時の動作について、次の2つのモードが選択できます。

- ・ 「OS起動時にユーティリティを起動する」を選択すると、OSが起動すると同時にユーティリティが起動します。
- ・ 「ユーティリティ起動時に最小化する」を選択すると、ユーティリティ起動時にWindowsの場合はタスクトレイ、Macの場合はメニューバーに自動的に最小化表示されます。





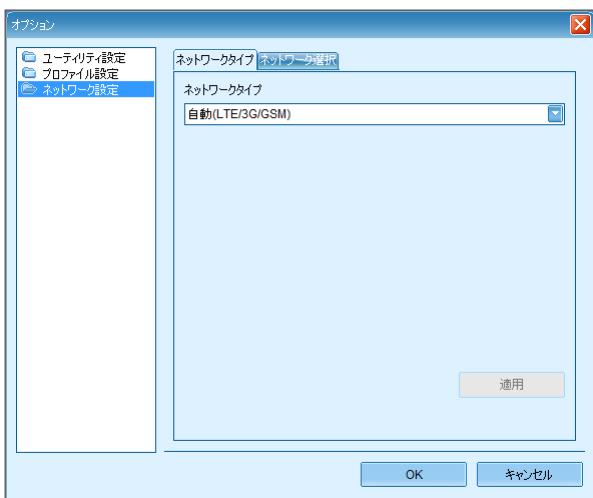
## ネットワーク設定

メイン画面 (Macの場合はメニューバー)より、「ツール」→「オプション」→ナビゲーションツリー中の「ネットワーク設定」をタップまたはクリックします。

**注意** ネットワーク設定は、本機をパソコンに接続していないと設定できません。また、ネットワーク設定の設定を変更すると、インターネット接続が一度切断されて再接続されます。

### ネットワークタイプを選択する

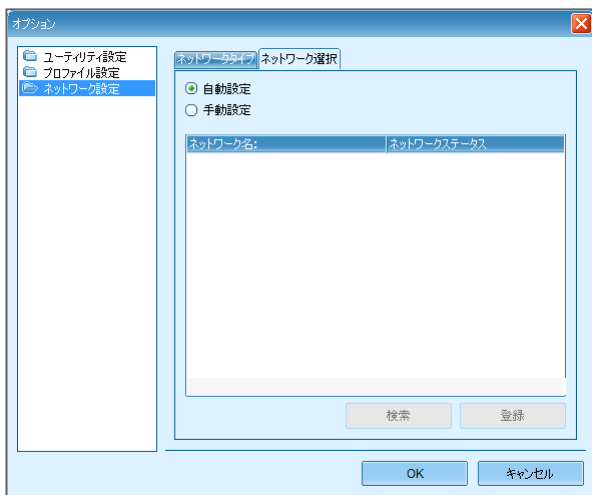
1. 「ネットワークタイプ」タブをタップまたはクリックします。
2. 「ネットワークタイプ」のプルダウンリストから接続するネットワークの種類を選択します。
  - ・ 自動 (LTE/3G/GSM)、自動 (LTE/3G)、LTE固定、3G固定、GSM固定から選択できます。
3. 「適用」をタップまたはクリックします。
  - ・ インターネット接続が切断され、変更したネットワークタイプでインターネットに再接続されます。



## 4 ユーティリティ操作ガイド

### ネットワークを選択する

1. 「ネットワーク選択」タブをタップまたはクリックします。
2. 「自動設定」または「手動設定」を選択します。
  - ・「自動設定」を選択すると、本機が自動的にネットワークの検索と登録を行います。通常ご利用になる場合は、「自動設定」を選択してください。
  - ・「手動設定」を選択し「検索」をタップまたはクリックすると、インターネット接続を切断し、ネットワークを再検索して検出したネットワークをリスト表示します。利用可能なネットワークを選択して「登録」をタップまたはクリックします。



## 関連設定および情報確認

### 言語の選択

EMOBILE HW ユーティリティは日本語と英語の表示ができます。

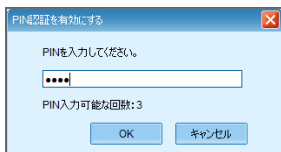
メイン画面 (Macの場合はメニューバー) より、「ツール」→「言語選択」をタップまたはクリックすることで、言語を指定します。

### PIN関連操作

PIN (Personal Identification Number) は、不正ユーザがEM chip<micro>を利用することを防ぐために使われるコードです。PIN認証有効、PIN認証無効、PIN変更などを設定できます。お買い上げ時のEM chip<micro>は、「PIN認証なし」、PINは「9999」に設定されています。

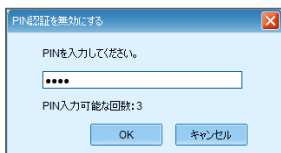
#### ● PIN認証を有効にする

1. メイン画面 (Macの場合はメニューバー) より、「ツール」→「PIN関連操作」→「PIN認証有効」をタップまたはクリックします。
2. 正しいPINを入力し、「OK」をタップまたはクリックします。
3. 「OK」をタップまたはクリックします。



#### ● PIN認証を無効にする

1. メイン画面 (Macの場合はメニューバー) より、「ツール」→「PIN関連操作」→「PIN認証無効」をタップまたはクリックします。
2. 正しいPINを入力し、「OK」をタップまたはクリックします。
3. 「OK」をタップまたはクリックします。



#### ● PINを変更する

1. メイン画面 (Macの場合はメニューバー) より、「ツール」→「PIN関連操作」→「PIN変更」をタップまたはクリックします。
2. 「現在のPIN」に現在のPINを、「新しいPIN」「新しいPIN再入力」に新しいPINを入力し、「OK」をタップまたはクリックします。
3. 「OK」をタップまたはクリックします。



#### 注意

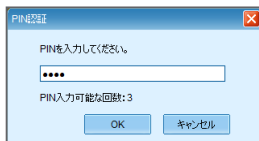
- ・ PINは4～8桁の数字のみ許容されます。
- ・ PIN認証が有効に設定されていないと、PINは変更できません。

## 4 ユーティリティ操作ガイド

### ● PINを入力する

PIN認証が有効で認証されていない場合、本機をパソコンに接続してデバイスが検出されると、PIN認証画面が表示されます。PINが認証されるまで、ユーティリティを起動してもインターネット接続はできません。

1. 本機をパソコンのUSBポートに接続します。
2. 正しいPINを入力し、「OK」をタップまたはクリックします。
  - ・ インターネットに接続されます。



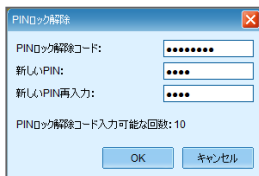
**説明** PIN入力が必要な場合、認証されるまでLEDステータスランプ(橙)が減速します。

**注意** PINを3回連続で間違えるとPINロック状態になり、PINロック解除コード(PUKコード)が必要になります。PINロック解除コード(PUKコード)についてはお問い合わせ先にご連絡ください。

### ● PINロックを解除する

EM chip<micro>がロックされた場合、PINロック解除の画面が表示されます。

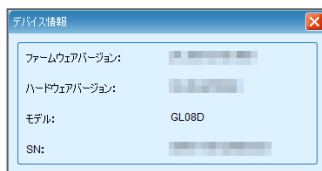
1. 「PINロック解除コード」に正しいPINロック解除コード(PUKコード)を入力します。
2. 「新しいPIN」「新しいPIN再入力」に新しいPINを入力し、「OK」をタップまたはクリックします。
  - ・ インターネットに接続されます。
  - ・ ユーザーアカウント制御画面が表示された場合は「はい」をタップまたはクリックします。



**注意** PINロック解除コード(PUKコード)を10回連続で間違えると、完全ロック状態となります。完全ロック状態となった場合は、新しいEM chip<micro>が必要となります。手続きにつきましてはお問い合わせ先にご連絡ください。手続きの際には、所定の手数料が発生する場合があります。

## デバイス情報を確認する

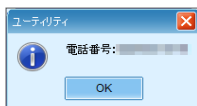
メイン画面 (Macの場合はメニューバー) より、「ツール」→「デバイス情報」をタップまたはクリックすると、本機のデバイス情報を確認することができます。



説明 デバイス情報は現在使用中の端末に関する情報です (実際の表示は異なる場合があります)。

## 電話番号を確認する

メイン画面 (Macの場合はメニューバー) より、「ツール」→「電話番号」をタップまたはクリックすると、EM chip<micro>に登録されている電話番号を確認することができます。



## ソフトウェア情報を確認する

メイン画面 (Macの場合はメニューバー) より、「ヘルプ」→「EMOBILE HWユーティリティについて」をタップまたはクリックすると、ソフトウェアのバージョンなどを確認することができます。

## 取扱説明書を参照する

メイン画面 (Macの場合はメニューバー) より、「ヘルプ」→「ヘルプ」をタップまたはクリックすると、本書のPDFファイルを参照できます。

※参照にはアドビシステムズ社が配布しているAdobe Readerが必要です。

## 5 故障と思われる前に

症状	参照ページ
1. パソコンが本機を認識しない。	53
2. 本機をパソコンに接続してもインストーラーが自動的に起動しない。	54
3. インターネットへの接続が失敗した。	54
4. 通信がすぐに切れる。	54
5. 通信速度が遅く感じる。	54
6. PINコードを忘れた。PINロック解除コード(PUKコード)を知らない。EM chip<micro>が完全ロック状態である。	55
7. EM chip<micro>が認識されない。	55
8. 管理者権限 (Administrator) でログインしているのか判らない。	55



## 5 故障と思われる前に

### ● ユニバーサル シリアル バス コントローラー

HUAWEI Enumerator Device

HUAWEI Mobile Connect – Bus Enumerate Device

USB Composite Device

USB大容量記憶装置(Windows XPでは「USB 大容量記憶装置デバイス」)

※COMポートの番号はパソコンの環境によって異なります。

### ● Macの場合は、以下の手順で本機が正しく接続されていることを確認してください。

1.  →「アプリケーション」→「ユーティリティ」→「 ターミナル」をダブルクリックして起動します。
2. ターミナルウィンドウが表示されたら、「ls /dev/tty.\*」を入力します。
3. 次の情報が表示されることを確認します。

```
/dev/tty.HUAWEIMobilePcu
```

### 2. 本機をパソコンに接続してもインストーラーが自動的に起動しない。

システムが新しいハードウェアを認識してから、インストール準備に時間がかかりますので、45秒程度お待ちください。一定時間経過してもインストーラーが自動的に起動しない場合は、本機を一度パソコンから取り外してから、再度接続してください。

なお自動起動しない場合は、本書の24ページ(Windows)、36ページ(Mac)を参照してください。

### 3. インターネットへの接続が失敗した。

1. サービスエリア内であることをご確認ください。
2. 電波状態が良くないところであれば、電波状態の良いところへ移動して、もう一度インターネットに接続してください。
3. 時間帯によって接続先が混雑していることもありますので、しばらくしてからもう一度インターネットに接続してください。
4. EMOBILE HWユーティリティを起動し、「プロファイル設定」が正しく設定されているかどうかを確認してください。詳しくは本書の43ページを参照してください。

### 4. 通信がすぐに切れる。

1. 本機とパソコンが正しく接続されていることを確認してください。
2. 電波状態が良くない場合があります。電波状態の良いところで確認してください。
3. 本機をパソコンから取り外してもう一度接続してください。
4. 上記の操作を行ってもなお接続できない場合、本機を取り外してパソコンを再起動し、もう一度接続してください。

### 5. 通信速度が遅く感じる。

電波状態が良くない場合があります。電波状態の良いところで確認してください。

回線の状態が良くない場合があります。時間を置いて再度試してください。



6. PINコードを忘れた。PINロック解除コード(PUKコード)を知らない。EM chip<micro>が完全ロック状態である。

お問い合わせ先(58ページ)にご連絡ください。

7. EM chip<micro>が認識されない。

1. EM chip<micro>が正しく取り付けられているかどうかをご確認ください。詳しくは本書の17ページの「EM chip<micro>の取り付けかた」をご参照ください。
2. EM chip<micro>が変形していないことを確認してください。
3. EM chip<micro>の金属端子部分にキズや腐食がないことを確認してください。
4. EM chip<micro>(特に金属端子部分)が汚れると認識できない場合もありますので、柔らかい布で軽く拭き取ってください。
5. 1から4までをすべて確認・お試しいただいても改善しない場合は、お問い合わせ先(58ページ)にご連絡ください。

8. 管理者権限(Administrator)でログインしているのかわからない。

● Windows 8の場合

1. デスクトップ画面で、画面の右端からスワイプ(マウスで操作する場合は、画面の右上隅/右下隅に移動)→チャームで「設定」→「コントロールパネル」をタップまたはクリックします。
2. 「ユーザーアカウントとファミリーセーフティ」カテゴリの「アカウントの種類の変更」をタップまたはクリックします。
3. 現在ログインしているアカウントの種類が「Administrator」であれば管理者権限でログインしています。

● Windows 7およびWindows Vistaの場合

1. 「スタート」→「コントロールパネル」をクリックします。
2. 「ユーザーアカウントと家族のための安全設定」→「ユーザーアカウント」をクリックします。
3. 画面の右側に現在ログインしているユーザー名と、アカウントの種類が表示されています。アカウントの種類が「Administrator」であれば管理者権限でログインしています。

● Windows XPの場合

1. 「スタート」→「スタート」メニューの一番上に表示されている現在ログインしているユーザー名を確認します。
2. 「コントロールパネル」→「ユーザーアカウント」→「ユーザーアカウント」をクリックします。
3. 1で調べたユーザー名の下に「コンピュータの管理者」と表示されていれば、管理者権限でログインしています。

● Macの場合

1. アップルメニューから「システム環境設定…」をクリックします。
2. 「ユーザとグループ」をクリックします。
3. 画面の左側に表示される「現在のユーザ」が「管理者」であれば管理者権限でログインしています。

## 6 付録

主な仕様 .....	57
保証とアフターサービス .....	58

## 主な仕様

製品名	GL08D
サイズ(W×H×D)	約32mm×91mm×14.0mm
質量	約38g
インターフェイス	USB 2.0 High Speed
消費電力	通信時最大:約3.25W 待機時:約0.5W ※使用状況により消費電力は変化します。
環境条件	動作温度範囲: -10~40°C 動作湿度範囲: 5~95%(結露しないこと)
制御コマンド	Hayes標準ATコマンドに準拠
対応周波数	LTE: 上り: 1710~1785MHz 下り: 1805~1880MHz 3G: 上り: 1749.9~1784.9MHz、1920~1980MHz 下り: 1844.9~1879.9MHz、2110~2170MHz GSM: 上り: 824~849MHz、880~915MHz、1710~1785MHz、 1850~1910MHz 下り: 869~894MHz、925~960MHz、1805~1880MHz、 1930~1990MHz
通信方式	LTE、W-CDMA(HSUPA、HSDPA、HSPA+)、GSM/GPRS/EDGE

### 保証とアフターサービス

#### 【保証について】

お買い上げいただくと、保証書が添付されています。保証書に「お買い上げ日」および「販売店」の記載がされているかをご確認のうえ、内容をよくお読みになって大切に保管してください。

「お買い上げ日」や「販売店」の記載がない場合や、納品書または領収書等にて「お買い上げ日」や「販売店」が特定できる書類がない場合、改ざんのある場合には保証対象外となりますのでご注意ください。保証内容については、保証書に記載されています。

- 本機の故障、誤動作または不具合などにより、通信などの機会を逸したためにお客さままたは第三者が受けた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

#### 【修理について】

取扱説明書の「故障と思われる前に」をお読みになり、もう一度お調べください。それでも正常に戻らない場合には、お問い合わせ先(下記)までご連絡ください。

- 保証期間中の修理  
保証書の記載内容に基づいて修理致します。
- 保証期間経過後の修理  
修理によって使用できる場合は、お客さまのご要望により有料にて修理致します。
- 本機は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 故障または修理の際に、本機に登録した情報内容または設定した内容が消失・変化した場合、その損害について当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本機を分解・改造すると電波法に触れることがあります。また、改造された場合は修理をお引き受けできませんので、ご注意ください。
- アフターサービスについてご不明な場合は、お問い合わせ先(下記)までご連絡ください。

#### 【修理用部品について】

本機および周辺機器の補修用性能部品の最低保有期間は、生産終了後6年間です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

### 【お問い合わせ先】

イー・モバイル カスタマーセンター

イー・モバイル携帯電話から:157(無料)

一般電話から:0120-736-157(無料)

※他社の携帯電話、PHSからもご利用いただけます。

海外から:+81-3-6831-3333(有料)

受付時間 9:00~21:00(日本時間/年中無休)

※間違い電話が多くなっております。番号をよくお確かめの上、おかけください。

※一部の光電話、IP電話等からはご利用いただけません場合があります。

ホームページ <http://emobile.jp/>



発売元：イー・アクセス株式会社  
(製造元：HUAWEI TECHNOLOGIES CO., LTD.)  
発行年月：2013年6月 第1版

